



下條正男

しもじょう・まさお 長野 期竹島問題研究会の座長を務
出身。国学院大学院博士 めた竹島研究の第一人者。23
課程修了。1999年から拓 年3月まで本紙客員論説委員
殖大教授を務め、2021年 を務めた。拓殖大名教授、
3月末で退官。島根県の第5 島根県立大客員教授。75歳。

2月22日に松江市で開か
れた今年の島根県の「竹島
の日」記念式典には多くの
政党が参加し、来賓あいさ
つも長引いた。そのため、
続く第2部の私の講演時間
は大幅に削られた。

各党が「竹島の日」に関
心を持ったのは、昨秋の自
民党総裁選の討論会で高市
早苗氏が「『竹島の日』、
堂々と大臣が出て行ったら
いいじゃないですか。それ
は(韓国側の)顔色をうかが
う必要はない」と強気の発
言をしていたからだ。

ところが2月12日、高市
政権は「改善基調が続く日
韓関係を踏まえ、式典開催
に反発する韓国に配慮」し
閣僚の派遣を見送った。
高市首相はインテリジェン
ス(情報活動)の重要性を唱
え、国家情報局の新設など
も企画している、その
判断には深謀遠慮があった
のだらう。

一方、記念式典の2日前
にあった特別国会の外交演
説で、茂木敏充外相が「竹
島については、歴史的事実
に照らしても、かつ、国際
法上も日本固有の領土であ
るとの基本的な立場に基づ
き、毅然と対応してまいり
ます」と述べたことで韓国
側の態度が一変し、強く反
発した。竹島問題では韓国
側の「顔色をうかがう必要
はない」が、その解決には
知恵が要る。

■韓国の国民情緒

記念式典で政府から派遣
された古川直季内閣府政務
官は「韓国による不法占拠

「竹島の日」に言えなかったこと



2月22日に開かれた「竹島の日」記念式典。多くの
政党関係者が参加した—松江市殿町、島根県民会館

現場訪ねて相互理解を

は決して容認できない」と
言及。「島根県、島根県議
会、そして竹島北方領土返
還要求運動島根県民会議を
はじめとする、関係者の皆
さまがこれまで一貫して竹
島問題の解決に向けてご尽
力されていることに対し、
改めて心から敬意を表しま
す」と述べ、竹島は「歴史
的事実に照らしても、かつ
国際法上も明らかにわが国
固有の領土です」と従来の
主張を繰り返した。

これに対し、韓国政府は
「この行事を直ちに廃止す
ることをもう一度嚴重に求
める」「独島(竹島の韓国
名)は歴史的、地理的、国
際法的に明らかで韓国固有
の領土」と批判した。
日韓は竹島を歴史的にも
国際法上も自国の領土と叫

ぶが、それだけではあまり
にも能がない。韓国側は独
島を「民族の聖地」とし、
それが国民情緒となってい
る。この現状では、竹島問
題を政治的に解決すること
は難しい。

■大関と十両の差

総裁選での高市氏の発言
により、今年の記念式典は
閣僚が参加するか否かに関
心が集まったが、「竹島の
日」条例制定の目的は、竹
島の領土権確立にある。

元をたどれば、1994
年に発効した国連海洋法条
約を受け、日韓が98年に結
んだ日韓漁業協定に問題が
あった。本来なら、排他的
経済水域の中間線を日韓の
間に画定しなければならな
かったが、竹島問題を棚上

・主権対策企画調整室」を
設置したが、室長には主に
経済担当のお役人が就き、
職位は中間管理職級だ。相
撲で言えば当事者能力は大
関と十両ほどの差がある。

そこで私が昨年の「竹島
の日」記念式典と、その前
年に島根県隠岐諸島であつ
た集会で提案したのが、竹
島問題の歴史的舞台だった
韓国・鬱陵島と隠岐諸島を
結ぶ航路を開き、竹島を問
にした地域間交流である。
今回も韓国・慶尚北道の
李喆雨知事が関心を示し、
「民間及び地域間交流を拡
大して協力的関係を」と語
っていた。歴史の現場を訪
れ、日韓の主張の違いを知
れば、それが相互理解とな
り、地域経済を潤すことに
なる。